

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	マルコメ株式会社							
代表者名	氏名	青木時男	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県長野市安茂里883							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	09 食品製造業						
主たる事業の概要	味噌製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	9437	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	22	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	本社工場 生産本部生産管理部環境課 9:00～17:00 問い合わせ先 026-226-0255
<input type="checkbox"/>	その他	

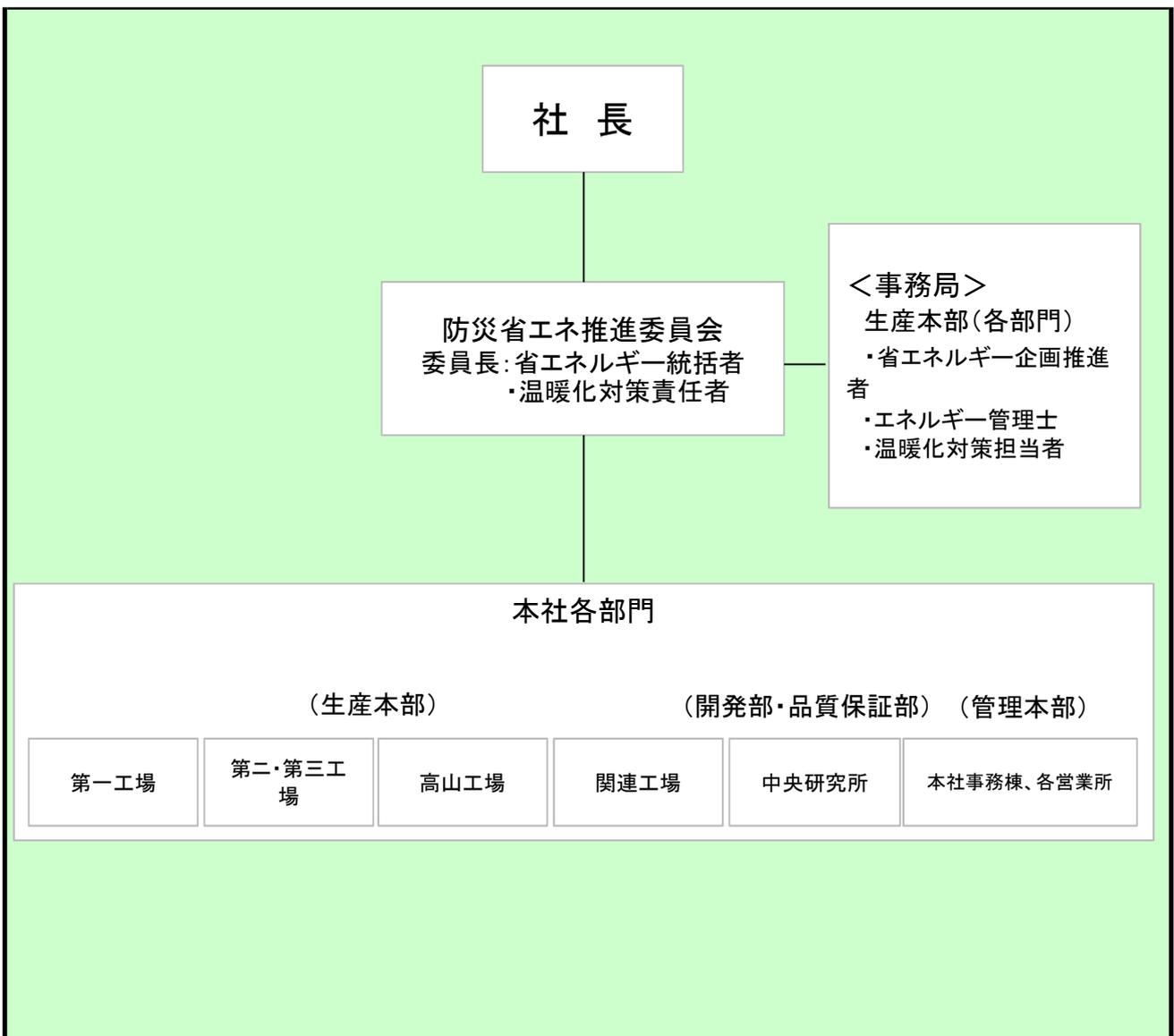
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

<企業理念>
「日本古来の発酵技術を通じて、生活者のすこやかな暮らしに貢献する」

私どもは企業理念のもと、省資源・省エネルギー・資源循環・地球環境保全に努めてまいります。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	17,473	t-CO ₂	売上高	359	単位	億円	
25年度	調整後排出量	15,102	t-CO ₂	基準原単位	48.67	t-CO ₂ /	億円	
目標年度	目標排出量	17,298	t-CO ₂	目標原単位	48.18	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%		
目標設定に関する説明	売上三ヵ年計画が110%のため目標排出量は3年間で1%減とした。目標原単位については年1%削減目標にした。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	17,875	t-CO ₂	売上高	380.97	単位	億円	
	調整後排出量	17,807	t-CO ₂	原単位	46.92	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	(2.31)	%	削減率	3.59	%		
排出量等の増減理由	売上高が上がったため、効率の良い生産ができた。							
第二年度	排出量	17,525	t-CO ₂	売上高	410.40	単位	億円	
	調整後排出量	17,473	t-CO ₂	原単位	42.70	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	(0.30)	%	削減率	12.26	%		
排出量等の増減理由	売上増のため。							
第三年度	排出量	18,791	t-CO ₂	売上高	439.91	単位	億円	
	調整後排出量	18,719	t-CO ₂	原単位	42.72	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	(7.55)	%	削減率	12.22	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	売上高が上がったため、排出量は増加したが原単位は下がったので効率良く生産できた。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	138	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	140	t-CO ₂	削減率	-1.45	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	154	t-CO ₂	削減率	-11.6	%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	17	t-CO ₂	削減率	87.68	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752第三工場2階照明のLED化(55台)	26	3.27	26	3.27
2	エネ起	380752第三工場2階照明のLED化(60台)	28	3.65	27	3.65
3	エネ起	380752南棟3階照明のLED化(24台)	26	1.25	26	1.25
4	エネ起	380752第三工場街灯のLED化(3台)	26		26	
5	その他 ガス	F棟省エネ空調のび太君(6台)	26	8.85	26	8.85
6	エネ起	320351SCM保温ジャケット	26		26	
7	エネ起	320351蒸気本管保温	26	13.59	26	13.59
8	エネ起	380752第三工場出荷場照明のLED化(14台)	27	0.83	26	0.83
9	その他 ガス	第三工場チラー更新	26	39.06	26	39.06
10	エネ起	320302スチームトラップの管理	26	1	26	1

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kw	190	0	190	190	190

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	2371		68	52	72
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	15,383	1	15,778	1	15,437	1	16,768
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	7	2,090	5	2,097	5	2,088	5	2,023
合計	8	17,473	6	17,875	6	17,525	6	18,791

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他		2	2	2
合計	0	2	2	2
自動車総数	22	22	22	22
次世代車導入割合		9.1	9.1	9.1

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	通勤距離3km未満はマイカー禁止
公共交通機関の利用促進	出張時にはなるべく公共交通機関（鉄道、飛行機）を利用するように呼びかけている。
来客者の交通対策	工場見学時にはマイカーでの来訪をお断りして、バス、徒歩で来訪するようにお願いしている。
物流の合理化	在庫拠点を変え、トラックの待機時間を50%削減

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001（高山工場）	2012年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	緑地管理、廃棄物削減
第一年度実績	食品産業物、廃プラ、廃棄物量の削減
第二年度実績	廃棄物の排出量削減のための資材変更
第三年度実績	物流効率化法

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他	特になし	